

こんにちは。歴史資料室の村上です。今回は6月30日まで行っていた館内展示「人物で紐解く近代スポーツ2」でご紹介したサイクリングに関する話題をお届けします。



県道 256 号の標識

さて、皆さんは青森市内に自動車が走ることのできない県道があることをご存じですか？ それは県道 256 号「青森十和田湖自転車道線（別名・田代平高原自転車道）」です。

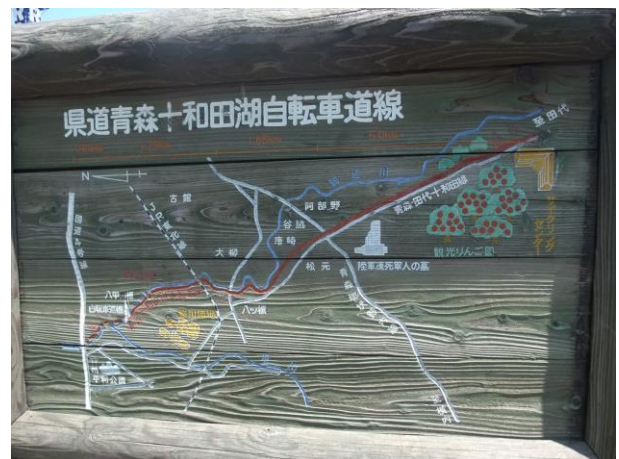
この路線は建設省（現国土交通省）が行った大規模自転車道整備事業の中で整備が進められた自転車道のひとつです。大規模自転車道整備事業は昭和 48 年度に始まり、全国各地に自然公園・名勝・観光施設などを巡る自転車道が作られました。

青森十和田湖自転車道線は青森市松森と十和田湖町（現十和田市）法量を結ぶ 43.5km の自転車道として計画され、昭和 49 年（1974）、整備に着手しました。青森市側と十和田湖町側で工事が進められ、青森市側 9.7 キロメートルと十和田湖町側 11.5 キロメートルの 2 区間が整備されたものの、八甲田を越える区間は未整備となっています。

青森市側の区間は駒込川に架かる八甲田自転車道橋附近を起点とし、駒込川沿いを進んだあと、幸畑唐崎バス停附近で県道 40 号と合流し、田茂木沢バス停附近が終点となっています。駒込橋のたもとなど数か所には現在も自転車道のルートを示す案内板が設置されています。



自転車道の案内板（駒込橋附近）



自転車道の案内板（福田橋附近）

平成 9 年（1997）12 月 25 日付の『東奥日報』によると、青森十和田湖自転車道線の整備事業は国の補助事業として行われましたが、オイルショックの影響により補助金が付きにくくなり、八甲田を越える区間は着工に至らなかったといえます。自転車道が計画通りに整備されなかったことは残念ですが、青森市側の区間は現在も通勤・通学や散歩コースとして多くの市民に活用されています。

ちなみに、平成 30 年に青森中央学院大学の学生が作成した『青森市ポタリングマップ』（青森中央学院大学 COC+事業推進事務局）には、青森十和田湖自転車道線の一部区間を走行する「青森南ルート（りんごチャレンジ）」というコースが掲載されています。こうした情報も参考にしながら、市内でサイクリングを楽しんでみてはいかがでしょうか。



青森十和田湖自転車道線